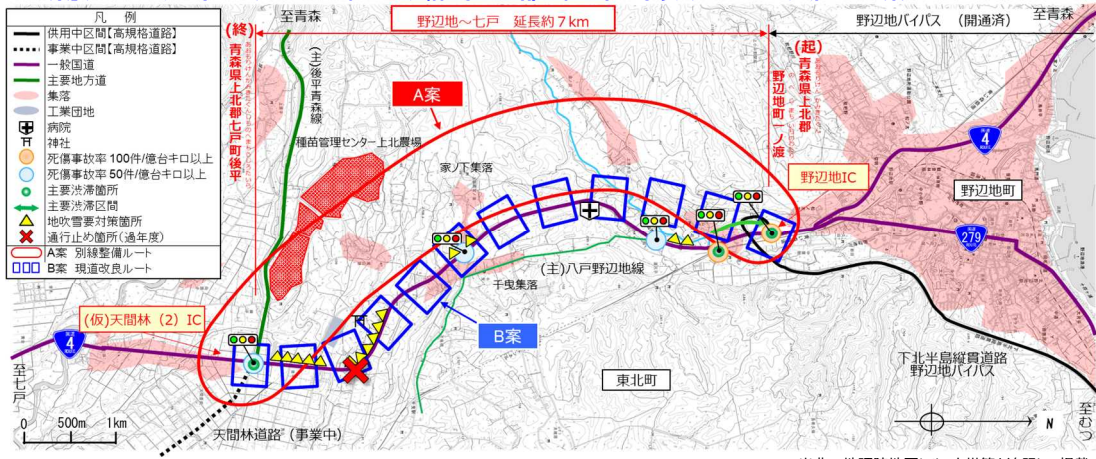


以下の内容をご確認いただき、
別紙のアンケート調査票へのご回答をお願い致します。

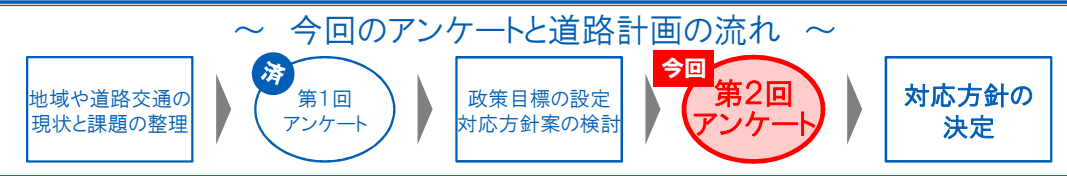
- 【A案】別線整備ルート：全線を別線で整備し、現道課題の解消を図る案
- 【B案】現道改良ルート：現道の4車線への拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図る案



出典：地理院地図にルート帯等を追記して掲載

比較項目		【A案】別線整備ルート	【B案】現道改良ルート
断面図(イメージ)			
設計速度		80km/h	60km/h
政策目標	産業・物流 安定した物流を支えるルートの確保	野辺地IC～天間林道路間を全線別線で接続。現道に加えて別線を整備することにより、通行止め時に代替機能を確保	現道を拡幅することにより、野辺地IC～天間林道路間が円滑に接続。4車線整備により、通行止めリスクが低減するが、代替機能は確保されない
	観光 広域観光を支えるルートの確保	別線整備による沿道の沿道出入り交通や交差点の回避により速達性に優れる	現道改良のため、沿道出入り交通や交差点が残り、A案より速達性が劣る
	交通 道路走行環境の改善	別線整備により、交差点が全て回避され、事故リスクが大幅に低減	上り、下りを分離することにより正面衝突事故等の事故リスクが低減されるが交差点が残るため、A案より走行環境に劣る
配慮すべき事項	生活環境 沿道家屋への影響	現道の交通が減少するため生活環境が改善される	現道改良区間で集落等を通過するため、沿道家屋等への影響は改善しない
	沿道環境 沿道出入りの影響	出入箇所が起終点のため、集落から本線へのアクセス性は劣る	沿道集落から本線へのアクセス性に優れる
	自然環境 自然環境への影響	全線バイパス区間となるため、山林地帯の改変が大きい	現道改良となるため、山林地帯の改変は生じない
	工事の影響 現道交通への影響	現道の工事は、接続部のみであるため施工時の現道交通への影響はほとんどない	施工時に比較的長い区間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい
コスト 整備に関する費用*	280～310億円	250～280億円	

*現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。



●アンケートに関するお問い合わせ先(平日 9:00～17:00)
青森河川国道事務所 調査第二課 TEL 017-734-4570 FAX 017-722-2384

下北半島縦貫道路（野辺地町～七戸町間）の道路計画に関するご意見を資料2でお聞かせ下さい！！



全4問
5分程度で回答できます

【インターネットでも回答できます】
インターネットで回答する場合は『下北半島縦貫道路アンケート』で検索しアンケートページへアクセス、もしくは右の二次元コードや『青森河川国道事務所』で検索し、右バナーからアクセスしてください。

見本

見本

1 第1回アンケートでは下記の「地域や道路の課題」について、ご意見をいただきました。

地域や道路の課題

課題1 輸送ルートの機能強化

対象区間は、多様な農林水産品の輸送ルートです。販路を拡大し、**地域産業を支える高速道路ネットワークのさらなる拡充と強化が必要です。**



課題2 広域周遊観光の形成

七戸十和田駅は、下北半島や十和田湖などの周遊観光の拠点となっています。新幹線駅から下北方面への観光はレンタカー利用が多く、**広域周遊観光を形成する上で、高速道路ネットワークをつなげることが必要です。**



課題3 走行環境の改善

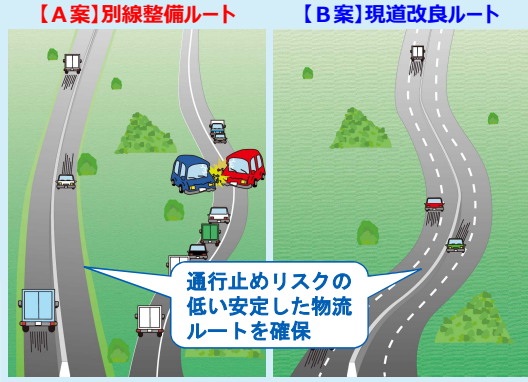
周辺の高速道路ネットワークの延伸により、対象区間では年々交通量が増加しています。現在は走行速度が低く、交通事故も多発しており、**幅員などの走行環境の改善が必要です。**



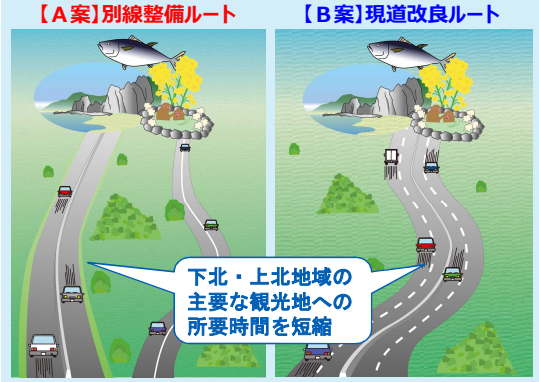
2 ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の8項目を考えています。

【政策目標】

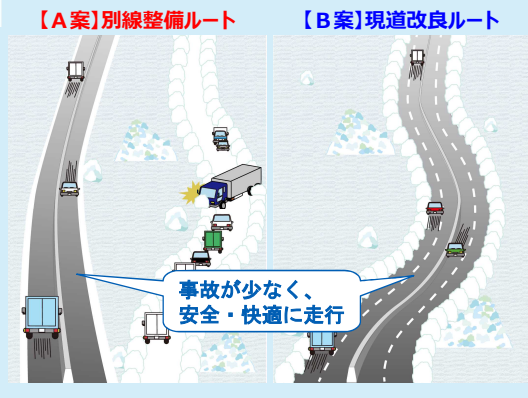
① 安定した物流を支えるルートの確保



② 広域観光を支えるルートの確保



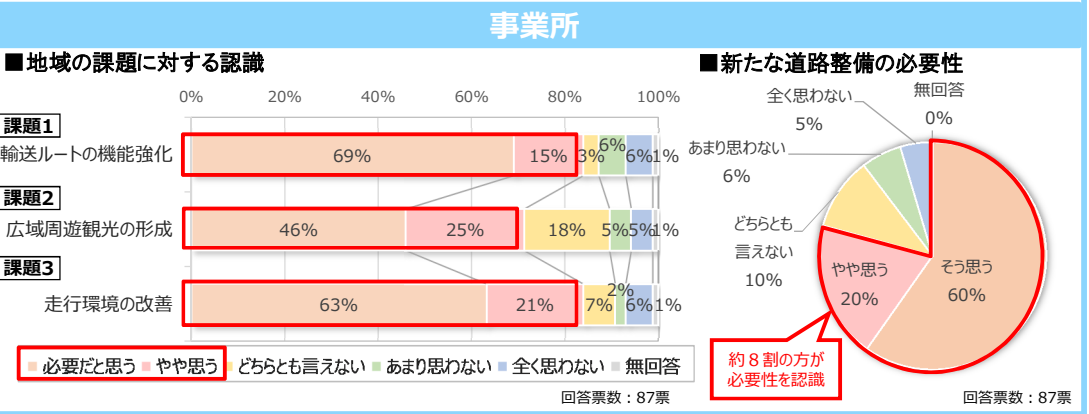
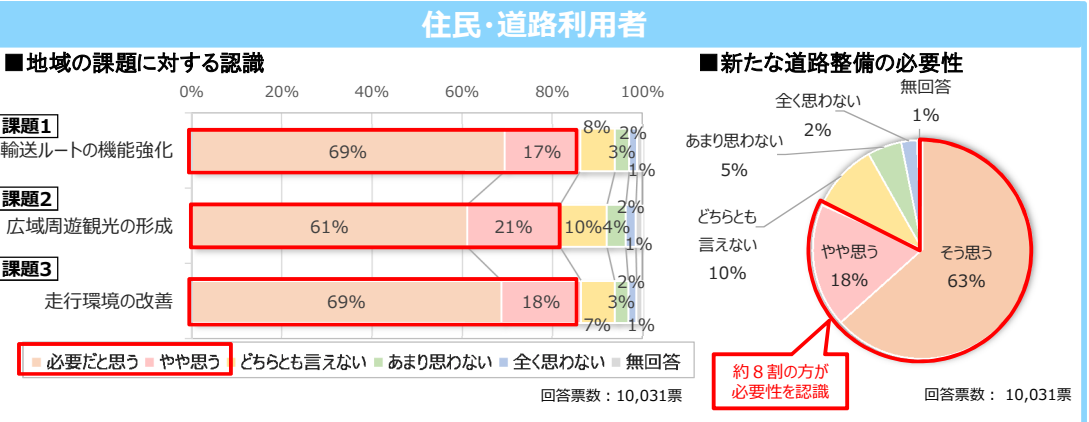
③ 道路走行環境の改善



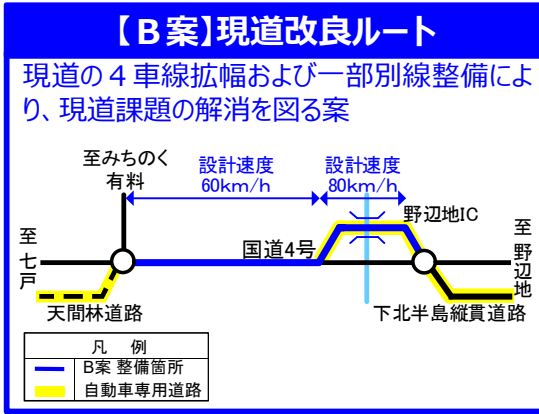
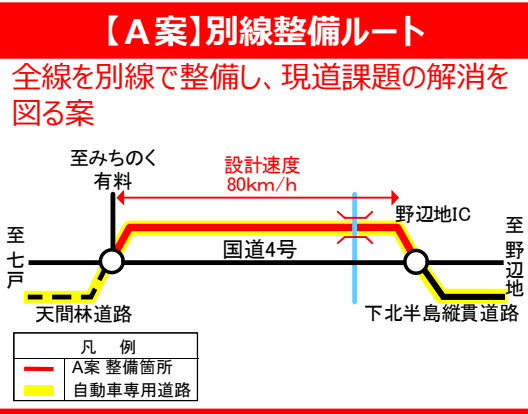
【道路整備による影響】

- ④ 治道家屋への影響が少ないこと
- ⑤ 治道沿線住民への影響が少ないこと
- ⑥ 自然環境への影響が少ないこと
- ⑦ 工事に伴う規制の影響が少ないこと
- ⑧ 整備にかかる費用が安いこと

第1回アンケート結果 たくさんのご回答をいただき、ありがとうございました。



3 政策目標を達成するためのルート帯として、以下の2案を立案しました。



詳細は裏面をご参照ください。

アンケート調査票

(裏面の質問票をご覧ください、回答はがきにご記入をお願い致します)

アンケート回答用はがきが2枚ついています。**お一人様1枚ずつのご回答**をお願い致します。
 (さらにご協力いただける方がいらっしゃる場合は、インターネットからご回答願います。お近くの市町村役場などにもアンケート票を設置しております)

◆返信方法 ※以下のいずれかで返信をお願い致します。
 お近くの郵便ポストに投函願います。(切手は不要です) また下記の場所においても回収ボックスを設置しております。

回収ボックス設置場所

・青森河川国道事務所、出張所 ・道の駅(しちのへ、おがわら湖、浅虫温泉、よこはま)

・青森県庁、各市役所・町役場・支所(野辺地町、七戸町、東北町、青森市、八戸市、十和田市、むつ市、横浜町) 等

注)設置場所の詳細は、「青森河川国道事務所のホームページ」の「計画段階評価」バナー、または下記問い合わせ先まで。

青森河川国道事務所



◆インターネットによる回答を行う場合は、「下北半島縦貫道路アンケート」で検索し、アンケートページへアクセス、もしくは右QRコードからアクセスできます。また、青森河川国道事務所ホームページにある右バナーからアクセスできます。

下北半島縦貫道路
(野辺地町～七戸町間)
ご意見募集中

見本



◆締切 **令和3年●月●日まで**にお願い致します。

◆アンケートに関するお問い合わせ先(平日 9:00～17:00)

青森河川国道事務所 調査第二課 TEL 017-734-4570 FAX 017-722-2384

【回答用はがき】注)回答用はがきは2枚あります。お一人様1枚ずつのご回答をお願い致します。

<1枚目>

<切り>

郵便はがき

料金受取人払郵便

030-見本90 228

青森中央郵便局
見本

青森県青森市中央3丁目20-38
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所 調査第二課
アンケート事務局 行

差出有効期間
2020年12月
31日



※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください ([] 内に記入または該当する番号に○)

第1回アンケートへの回答		1. 回答した		2. 回答していない		
住所	郵便番号 []	[] 都・道・府・県				
	[]	[] 市・町・村				
	地区名 []	[]				
性別	1. 男性	2. 女性	記入日	月	日	
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代		
	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上			
職業	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業	4. 学生	5. 主婦・主夫	
	6. 無職	7. その他()				

<2枚目>

<切り>

郵便はがき

料金受取人払郵便

030-見本790 228

青森中央郵便局
見本

青森県青森市中央3丁目20-38
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所 調査第二課
アンケート事務局 行

差出有効期間
2020年12月
31日



※本アンケートでお答えいただいた意見及び個人情報、他の目的で利用したり、第三者に利用させたりすることは一切いたしません。

あなたについてお聞かせください ([] 内に記入または該当する番号に○)

第1回アンケートへの回答		1. 回答した		2. 回答していない		
住所	郵便番号 []	[] 都・道・府・県				
	[]	[] 市・町・村				
	地区名 []	[]				
性別	1. 男性	2. 女性	記入日	月	日	
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代		
	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上			
職業	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業	4. 学生	5. 主婦・主夫	
	6. 無職	7. その他()				

アンケート調査票

(回答はがきにご記入をお願い致します)

問1 国道4号の野辺地町～七戸町間(対象区間)の道路利用について、お伺いします。
(それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください)

A 利用目的 (主なもの1つに○)	1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物 4. 仕事(営業・運送等) 5. ドライブ・レジャー 6. 利用しない(※問2へ) 7. その他(カッコ内にご記入ください)
B 利用頻度 (1つに○)	1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回
C 移動手段 (主なもの1つに○)	1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

問2 対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を**3つまで**選んでください。(番号に○をつけてください)

1. 通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること	5. 沿道沿線住民への影響が少ないこと
2. 下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること	6. 自然環境への影響が少ないこと
3. 冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること	7. 工事に伴う規制の影響が少ないこと
4. 沿道集落への影響が少ないこと	8. 整備にかかる費用が安いこと

問3 問2でチェックした項目について、そう思われる理由について、ご自由にお書きください。

問4 問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることがありましたら、ご自由にお書きください。

【回答用はがき】

<切り> ✂

<2枚目>

<切り> ✂

<1枚目>

住2 下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間)
第2回アンケート調査 回答欄

問1. それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

A 利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B 利用頻度	1	2	3	4	5		
C 移動手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。
(3つまで)

1. 通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること
2. 下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること
3. 冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること
4. 沿道集落への影響が少ないこと
5. 沿道沿線住民への影響が少ないこと
6. 自然環境への影響が少ないこと
7. 工事に伴う規制の影響が少ないこと
8. 整備にかかる費用が安いこと

問3. 重視すべきと思われる理由

(自由意見)

問4. 他に重視すべきと思われること

(自由意見)

住1 下北半島縦貫道路(野辺地町～七戸町間)
第2回アンケート調査 回答欄

問1. それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

A 利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
B 利用頻度	1	2	3	4	5		
C 移動手段	1	2	3	4	5		

問2. 重視すべきと思われる項目に○をつけてください。
(3つまで)

1. 通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること
2. 下北・上北地域の主要な観光地への所要時間が短くなること
3. 冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること
4. 沿道集落への影響が少ないこと
5. 沿道沿線住民への影響が少ないこと
6. 自然環境への影響が少ないこと
7. 工事に伴う規制の影響が少ないこと
8. 整備にかかる費用が安いこと

問3. 重視すべきと思われる理由

(自由意見)

問4. 他に重視すべきと思われること

(自由意見)